

1145. Automorphic function = ツイテ (II)

有馬 喜八郎 (阪大)

訂正

前章 (第二章) 1 定理 1, 証明中 下ヨリ 五行目 $\mu(z_0) > 0$

トスト訂正, 338頁, 一行目第二型, 型ハ不変+ル故K
 ヲ-----ト故ヲ入レル. 定理2, 証明中

$$\sum_p \log \left| \frac{1 - \overline{s_p(z_0)} z}{z - s_p(z_0)} \right| \leq \sum_n \log \left| \frac{1 - \overline{z_n} z}{z - z_n} \right|$$

系6ヲ令リヤスク次, 如ク言ヒ換ヘル.

系6.

Riemann 面 R の *geschlecht* が有界+ル開分
 々 Riemann 面 \overline{R} = 含マレ, R , 境界 E の (勿論 \overline{R} の内
 点ヨリ+ル) R = テ Green 函數が存在スルカ否カ = ヲリ
Hauptuniformisierende = ヲリ單位円周上, 測度
 2π 又ハ 0 +ル 集合 = 寫像サレル.

系7. Riemann 面 R が他, Riemann 面 \overline{R} (*ges-*
chlecht ハ有限ト限ラズ) = 含マレ, R , 境界 E の \overline{R} ,
 内点トス.

R 上 = テ Green 函數が存在セザレバ *Haupt-*
uniformisierende = ヲリ E の單位円周上, 測度 0 +
 ル 集合 = 寫像サレル.

第三章

コノ章 = テハ Schottky Type = ヲル代數函數,
Uniformisation = ツイテ述バタイト思ヒマス. コレハ辻

先生, 定理⁽¹⁾, 別証マス.

(1) M. Tsuji: - Theory of conformal mapping of a multiply connected domain.

コノ擴張 = ツイテハ後章 = テ述ベタイト思ヒマス。

(1) *Geschlecht* p ($p \geq 2$) + ル隙ゲタ *Riemann* 面 $R = R$ ヲニツニ分ケ + イ p 個、異ナル且ツ交ハラナイ *Ruckerschnitt* L_i ($i = 1, 2, \dots, p$) = ヨリ生ズル面 \bar{R} 、境界ヲ (a_i, b_i) ($i = 1, 2, \dots, p$) トス。

$R_1 = \bar{R}$ トシ $R_1 = \bar{R}$ 、 a_i ($i = 1, \dots, p$)、各々 = 別 + \bar{R} 、 b_i ヲ附着シ、 $b_i = \bar{R}$ 別 + \bar{R} 、 a_i ヲ附着シテ R_2 ヲ作ル。 R_2 ハ R_1 ト更 = $2p$ 個、 \bar{R} ヨリ + リ $2p(2p-1)$ 、境界ヲ有ス。

$R_2 =$ 同様トコトヲ行ヒ R_3 ヲ作り以下順次 = コレヲ無限 = 行フ。

一般 = R_n ハ $2p(2p-1)^{n-1}$ 個、境界ヲ有シ、コノ極限トシテ得タ *Riemann* 面 \bar{R} 、 R 、*Überlagerung-Fläche* デアル。

\bar{R} ハ *Schlichtartig* + 面ナル故 *Koebe*、定理 = ヨリ Z 平面、*Schlicht* + 領域 $D =$ 寫像サレル。但シ R_1 、 $z = 0$ カ Z 平面、無限点 = 對應スルモ、トス。

然ルトキ D 、境界 E 、完全閉集合 (*discret*) デアルコト、容易 = 分リマス。

問題ハ E 、*Capacity* 0 + ルコトヲ証明スルコトヲス。 \bar{R} ヲ構成スルーツノ \bar{R} ヲ地、 $\bar{R} =$ 移スコト = ヨリ \bar{R} ヲ自分自身 = 移ス変換カ得ラレ、コレ = 對シ Z 平面 = テハ D ヲ自分自身 = 移ス変換 $Z' = S(Z)$

が得られマス。

カ、ル $S(z)$ の全体ヲ考へればコレハ明ラカニ Γ ノ群 G ヲ作りマス。

$S(z)$ ハ *Koebe*, *Courant* 等ニヨリ知ラレテキル如ク一次変換トナリマス。辻先生ノ指適サレタ如ク E ノ *Capacity* が 0 ナルコトヨリ $S(z)$ ノ一次分數式ナルコトが出テ來マス。以下ニ於テハ $S(z)$ ノ一次分數式ナルコトハ利用セズ E ノ *Capacity* 0 ヲ証明シソノ結果トシテ $S(z)$ ノ一次分數式ナルコトヲ示シマス。

$S(z)$ ノ代リ一般ニ $S_p(z)$ [$p = 0, 1, 2, \dots$] ヲ用ヒマス。

(2) R_p ノ境界ニハ Z 平面ニテ $2p$ 個一般ニ R_n = ハ $2p(2p-1)^{n-1}$ 個ノ閉曲線カ對應シ、 R_n ノ境界ニ對應スル閉曲線ノ全体ヲ Γ_n トス。

又 R_n = 對應スル Z 平面ノ領域ヲ σ_n トス。

原点ハ σ_1 ノ内点トシテ一般性ヲ失ハズ。

σ_1 ハ $2p$ 個ノ閉曲線ヲ境界サレタ無限点ヲ内点トスル領域ヲ $2p$ 個ノ境界ハニツツツ適當ニ $S_p(z)$ = ヨリ変換サレル。

原点ヲ中心トシ σ_1 = 含マレル円ヲ C_i トシソノ半径ヲ r_i トス。

$$(r_1 > r_2 > \dots > r_n \rightarrow 0 \text{ トス})$$

C_i ノ円板ヲ K_i = テ表ハスコトニス。

$C_i = S_p(Z)$ を施シテ得々閉曲線 C_i^p トス。

σ_n より $\sigma_n =$ 含マレル C_i^p の内部ヲ除イテ出来タ領域ヲ D_n^i トス。

D_n^i の内点ヲ Z_0 トシ, Z_0 ヲ Pole $= z$ ヲ D_n^i 内 Green 函数ヲ $g_n^i(z, Z_0)$ トス。然ルトキ

$$g_n^i(z, Z_0) < g_{n+1}^i(z, Z_0)$$

K_i 内全平面ヨリ除イタ領域 $=$ 於テ Z_0 ヲ Pole $=$ 有スル Green 函数ヲ $g(z, Z_0)$ トス。

$$g(z, Z_0) > g_n^i(z, Z_0)$$

故ニ Harnack の定理ニヨリ $n \rightarrow \infty$ ノトキ $g_n^i(z, Z_0)$

ハ Z_0 ヲ除キ調和ト函数 $g^i(z, Z_0) =$ 一様收斂ス。

Green - Gauss の公式ニヨリ

$$\sum_p \int_{C_i^p} \frac{\partial g_\lambda^i(z, Z_0)}{\partial n} ds < 2\pi \quad (\lambda > n)$$

但シ \sum_p ハ D_n^i 境界ヲトス C_i^p , $p =$ ツイテトル \in , トス。

$\lambda \rightarrow \infty$ ノトキ $g_\lambda^i(z, Z_0) \rightarrow g^i(z, Z_0) =$ 一様

收斂スル故

$$\sum_p \int_{C_i^p} \frac{\partial g^i(z, Z_0)}{\partial n} ds < 2\pi$$

C_i^p ハ $S_{-p}(Z) = \bar{C}_i =$ 移ル故

$$\sum_p \int_{C_i^p} \frac{\partial g^i(z, Z_0)}{\partial n} ds = \sum_p \int_{\bar{C}_i} \frac{\partial g^i(z, S_{-p}(Z_0))}{\partial n} ds$$

但し $S_{-p}(z)$ は $S_p(z)$ の逆変換ヲ示スモノトス。

$$\therefore \sum_p \int_{C_i} \frac{\partial g^i(z, S_{-p}(z_0))}{\partial n} ds < 2\pi$$

$$\sum_p g^i(z, S_{-p}(z_0)) = G_n^i(z, z_0) \text{ トス。}$$

\sum_p は前ト同様ノ意味トス。即チ D_n^i の境界 C_i^p , $p = \text{ツイ}$ ートルモノトス。

然ルトキ

$$\int_{C_i} \frac{\partial G_n^i(z, z_0)}{\partial n} ds < 2\pi$$

z_0 / トシ C_i 上 $\neq 0$, C_i 上 $\neq 1$ ヲトリ , C_i , C_i / 作ル環 / 中テ調和ノ函数ヲ $v(z)$ トスレバ

$$\int_{C_i} G_n^i(z, z_0) \frac{\partial v(z)}{\partial n} ds = \int_{C_i} \frac{\partial G_n^i(z, z_0)}{\partial n} ds < 2\pi$$

C_i 上テ長キ L , 周上テ $\frac{\partial v(z)}{\partial n} > \eta > 0$ (η は任意ニ固定シテ常数) トシ $G_n^i(z, z_0)$ / C_i 上ノ最小値ヲ G_n^i トスレ

バ

$$G_n^i < \frac{2\pi}{L\eta}$$

Harnackノ定理ニヨリ $0 < \epsilon < 1$ ナル常数 ϵ が定マ
リ C_i ノ周上テ

$$G_n^i(z, z_0) < \frac{1}{\epsilon} G_n^i$$

$$\therefore G_n^i(z, z_0) < \frac{2\pi}{\epsilon L \eta}$$

又, 明ラカ =

$$G_n^i(z, z_0) < G_{n+1}^i(z, z_0)$$

上, 式ヨリ Weierstrass 定理 = ヨリ $n \rightarrow \infty$, トキ

$G_n^i(z, z_0) \wedge S_{-p}(z_0) \rightarrow$ 除キ調和ノ函数 $G^i(z, z_0) =$
一様收歛ス。

$$G^i(z, z_0) = \sum_p g^i(z, S_{-p}(z_0)) \quad \left(\begin{array}{l} \sum_p \text{ハスベテ } p = \\ \text{ツキトル } \epsilon, \delta \end{array} \right)$$

$S_p(z)$ ハ群 G ヲ作ル故

$$= \sum g^i(z, S_p(z_0))$$

$S(z)$ ハ G ノ一ツノ元素トスレバ

$$G^i(z, S(z_0)) = \sum g^i(z, S_p S(z_0))$$

群ノ性質 = ヨリ

$$= \sum g^i(z, S_p(z_0))$$

$$= G^i(z, z_0)$$

故 = $G^i(z, z_0)$ ハ G Automorphic function

ナリ $z = \text{ツイテモ}$ 同様ナコトカ言ヘル。

$D_n^i =$ 於テスベテ, $C_i^p =$ 於テハ, Γ_n 上テ 0 ナル調
和函数ヲ $W_n^i(z)$ トスレバ

$$0 \leq W_n^i(z) \leq 1, \quad W_n^i(z) \leq W_{n+1}^i(z)$$

故 = $n \rightarrow \infty$, トキ $\lim W_n^i(z) \equiv 1$ トナルカナル調和
函数 $W^i(z) =$ 一様收歛ス。

一章ノ時ト同様 = シテ

$$W^i(z) = \frac{1}{2\pi} \int_{C_i} \frac{\partial G^i(z, z)}{\partial n} ds$$

$G^i(z, z)$ は $z = \infty$ において Automorphic function
 となる故 $w^i(z) \in \mathcal{O}$ 亦然。

(3) 集合 M の Capacity を $C(M)$ と表はす。

I の一ツの開曲線 A_i ($i = 1, 2, \dots, p$) の内部を含む
 互に互いに素な部分集合 E_i とすれば E_i は完全閉集合 (dis-
 cret) である。

$$E = \sum_{i=1}^{2p} E_i$$

以下 $C(E) > 0$ とす。

然ると $C(E_i) > 0$ となる集合 E_i が少くとも一ツ存在
 する。然ると E_i の適当な変換 $S_p(z) = \infty$ により E_j ($i \neq j$)
 の部分集合へ変換される。

$$C(E_j) > 0 \quad (i \neq j)$$

結局すべての i ($i = 1, \dots, 2p$) に対して

$$C(E_i) > 0$$

以下は E_1, E_2 について特筆を考へる。

先づ $\lim_{z \rightarrow \infty} w^i(z) \equiv 1$ の成立を証明する。

E_j 上の C_i^p (すべての $p = \infty$) の内部を除いた領域を
 D_j^i とす。但し $j = 1, 2$

Z_0 の Pole = ∞ 上の D_j^i の Green 函数 $g_j^i(z, Z_0)$ とす。

$\lim_{n \rightarrow \infty} w_n^i(z) \equiv 1$ + ルトキ次ノ補助定理が成立ス。

補助定理 E ト C_i^p (スベテ、 $p = \infty$) ヲ除イ
 \times 無限点ヲ含ム領域 D デ $\nabla(z)$ ハ調和且ツ有界、 C_i^p ノ
 境界上デ $\nabla(z) \geq 0$ + ラバ D ノ内部デ $\nabla(z) \geq 0$

証明. $|\nabla(z)| \leq M$ トス。

$D_n^i =$ 於テ $g(z) = \frac{\nabla(z) + M}{M} - w_n^i(z)$ ヲ考ヘル。

D_n^i, C_i^p ノ境界上デ $\frac{\nabla(z) + M}{M} \geq 1, w_n^i(z) = 1 \therefore g(z) \geq 0$

Γ_n 上デ $\frac{\nabla(z) + M}{M} \geq 0, w_n^i(z) = 0 \therefore g(z) \geq 0$

故ニ D_n^i 内デ $g(z) \geq 0$

$$\therefore \frac{\nabla(z) + M}{M} \geq w_n^i(z)$$

上式ハ n ノ如何ニ關セテ成立スル故ニ $n \rightarrow \infty$ トテ $\nabla(z) \geq 0$ トシ
 ンバ

$$\lim_{n \rightarrow \infty} w_n^i(z) \equiv 1$$

+ ルコトニ注意シ

$$\frac{\nabla(z) + M}{M} \geq 1 \quad \therefore \nabla(z) \geq 0$$

—— (証明終) ——

今 $\lim_{n \rightarrow \infty} w_n^i(z) \equiv 1$ トス。然ルトテ $g_1^i(z, z_0) - g_2^i(z, z_0)$ ハ上ノ補助定理ノ假設ヲ満足ス。

$$g_1(z, z_0) = g_2(z, z_0)$$

コレハ明カニ不合理ナリ。

故ニ $C(E) > 0 \Rightarrow \lim W_n^i(z) \equiv 1$ ナルコトナリ。

故ニ $C(E) > 0$ ナラバ $W^i(z)$ ナル調和函数カ存シ。

コレハ群 $G =$ 對シ Automorphic function ナル故

モトノ Riemann 面 $R =$ 移ッテ考ヘルト $C_i =$ ハ R 上

デ開カク R 上ニテ單一連結領域ヲ囲ム曲線 d_i カ對應ス:

然ルトキ $W^i(z)$ ハ d_i 上デ 1 , R ヨリ d_i ノ内部ヲ除
イタ部分ヲ調和且ツ $0 \leq W^i(z) \leq 1$ トナリコレ明カニ不
合理ナリ。

$$\therefore C(E) = 0$$

(注意) $W^i(z)$ ノ存在セザルコトハ D ノ Universal
Covering Surface ヲ作り單位円ニ移シソレニ附屬ス
ル群ト $S_p(z)$ トヲ結合スルトキ第一型ノフックス群カ得ラ
レル故ニ第一章ノコトヨリ $W^i(z)$ ノ存在セザルコトカ結論
ナレル。

$S_p(z)$ ハ E ヲ除キ全平面デ唯一ツ一位ノ極ヲ有シ。
單葉ノ函数ナリ。

従ッテ $C(E) = 0$ ナル故 E ハ正則点又ハ Pole トナル
然ルニ $S_p(z)$ ハ唯一ツノ極ノミヲ有スル正則点トナリ,
コレヨリ $S(z)$ ハ一次分數式ナルコトガ分ル。

故ニ Ruckerschnitt Theorem ノ証明ナレル。

(4) Schottky Type 1 群, limit point, 集合ニツイテ前述, $S(z)$ が loxodromique 又ハ Hyperbolique + 一次交換トナリソノマシ, 理論ヲ適用シ次ノ定理カ得ラレル。

定理. Schottky Type 1 群, limit point ノ集合ヲ E トスレバ $C(E) = 0$ ナリ。

証明 基本領域 (無限点ヲ内点ニ含ムモ, 取ル) ノ境界ハ $S(z)$ ヲ適當ニトレバニツヅツ, ツイヲナシ交換カレル, コノツイヲナシ境界ヲ附着シテ Ideal Riemann Surface ヲ作ル。基本領域, 境界, 数ヲ $2p$ トスレバ geschlecht p ナル閉カタ Riemann Surface カ出来ル。故ニ上ノ理論ヨリ $C(E) = 0$ ナルコトヲ知ル。

注意 Ideal Riemann Surface ヲ作ル代リニ Poincare, theta 級数ヲ利用シニツイ, 異ナル Automorphic function $x(z), y(z)$ ヲ作レバ $x(z), y(z)$ ヨリ geschlecht p ナル代数曲線 $f(x, y) = 0$ ヲ得コレヲ用ヒテ可ナリ。

注意 (I) geschlecht $p=1$ ノトキハ 群, limit point ハ Hyperbolique 又ハ loxodromique transformation ノ固定点ヲ唯一ニ含ム, ミヨリナシ故勿論 $C(E) = 0$

$p=0$ ノトキハ limit point ハ存在セズ。

注意 II. Rückerschnitt, 外 = 穴, 如 + cut 在
 上ル下ル, トキ.

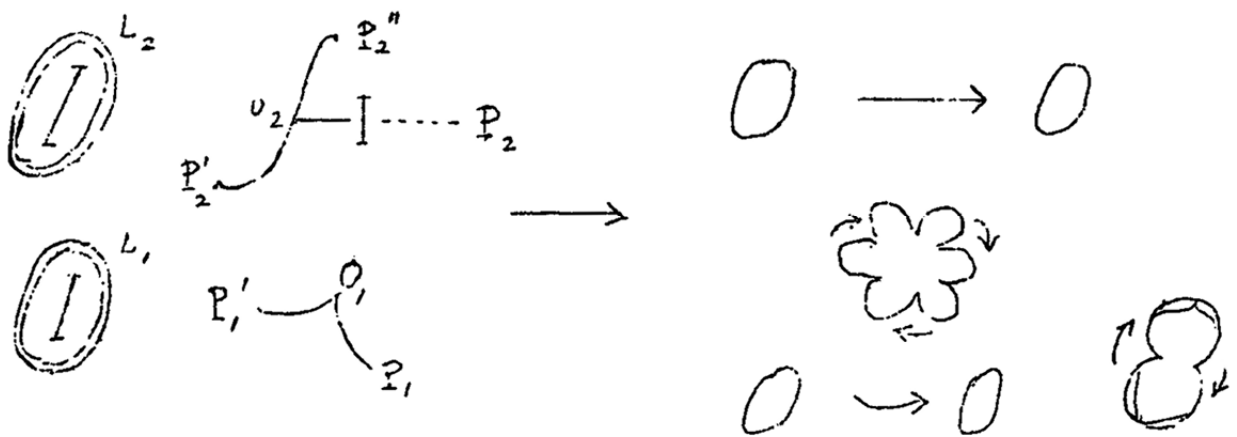
Riemann 面上, Rückerschnitt 上 = + 1 如 O_i
 カ P_i, P_i' 又ハ P_i, P_i', P_i'' へ cut 作リ, 前者, ト
 キハ $v_i = v_i'$

後者, トキハ
$$\frac{1}{v_i} + \frac{1}{v_i'} + \frac{1}{v_i''} > 1$$

上ル 整数 7 對應 セシメ $(v_i, 1), (v_i', 1), (v_i'', 1)$, 對キ對
 應 7 作レム ル トキ 在 Capacity 0 上ル コト 7 知ル. v
 ハ ∞ 上ル 在可.

例 7 示セバ (Ford automorphic function
 P. 278 参照)

$p = 2$ トキ



(5) m 個, 境界 7 有スル Schlichtartig + リー
 マン面ハ m 個, 円 = 7 境界 サレタ, 適當 7 領域 = 寫像 出來
 ルカ,

コノ問題ハ Koebe, Courant = ヨリテ 解決 サレタ

問題が上ノ結果カラモ解決サレマス。辻先生ノ論文ヲ参照シテ下サシ。 m 個ノ Rand ヲ有スル Schlichtartig + 面ハ m 個ノ u 軸 = 平行 + 切断線ヲ入レテ Schlicht + W 平面 = 寫像サレマス。(2)

但シ $W = u + iv$.

故 = 問題ヲ次ノ如ク直シテ考ヘマス。

m 個ノ u 軸 = 平行 + 切断線ヲ有スル W 平面ノ領域ヲ或 m 個ノ円 = 境界サレテ Z 平面 = 一對一 = 寫像セヨト云フ問題トナリコノ形ヲ考ヘマス。

W 平面ノ切断線ハ何レモ点 = ナラナイモノトス。

m 個ノ切断線ヲ S_1, S_2, \dots, S_m トシ、コノ切断線ノハイツタ W 平面ヲ R トス。先ツ $R = R_1$ トス。 R_1, S_i ($i = 1, 2, \dots, m$) = 於テ R, S_i = 関スル對稱面ヲ作り R_1, S_i = 交錯シテ R ヲ附着セシメテ出来タ面ヲ R_2 トス。 R_2 ハ $m(m-1)$ 個ノ切断線ヲ有ス。コノ切断線 = 同様ノコトヲ行ヒ R_3 ヲ得。以下順次同様ノコトヲ無限 = 行フトキ極限トシテ得ラレタ面ヲ \bar{R} トス。一般 = R_n ハ $m(m-1)^{n-1}$ 個ノ切断線ヲ有ス。

\bar{R} ハ Schlichtartig + 面 + ル故 Koebeノ定理 = ヨリ \bar{R} ハ Z 平面ノ領域 (Schlicht +) D = 寫像サレル。

D ノ境界点ヲ E トスレバ $C(E) = 0$ + ルコトヲ証明ス。

(2) 辻先生 複素函数論参照。

但シ R_1 / 一点 O ノ Z 平面 / ∞ 点 = 移スモノトス。
 \bar{R} ヲ構成スル R_1 デコレ = 附着スル地 / $R =$ 移スコト = ヨ
 リ \bar{R} ヲ自分自身 = 移ス変換ガ得ラレル、コレ = 對シ Z 平
 面 = テハ D ヲソレ自身 = 移ス変換ガ得ラレル。コノトキ前
 ノ $S(z)$ ト異ナリ角ノ向キガ相反スル変換トナル。

$$\bar{z}' = S(z)$$

\bar{z}' ハ z' / 共軛數ヲ表ハス。

コレハ問題ノ附着シテキル切断線 = 對應スル像ノ各点
 ヲ不変ナラシメル。

カナル変換ヲ \bar{R} / 各 S_i = ツイテ考フレバ m 個ノ変
 換ガ得ラレル。カナル m 個ノ変換ヲ生成元トシテ出来タ群
 ヲ \bar{G} トス。

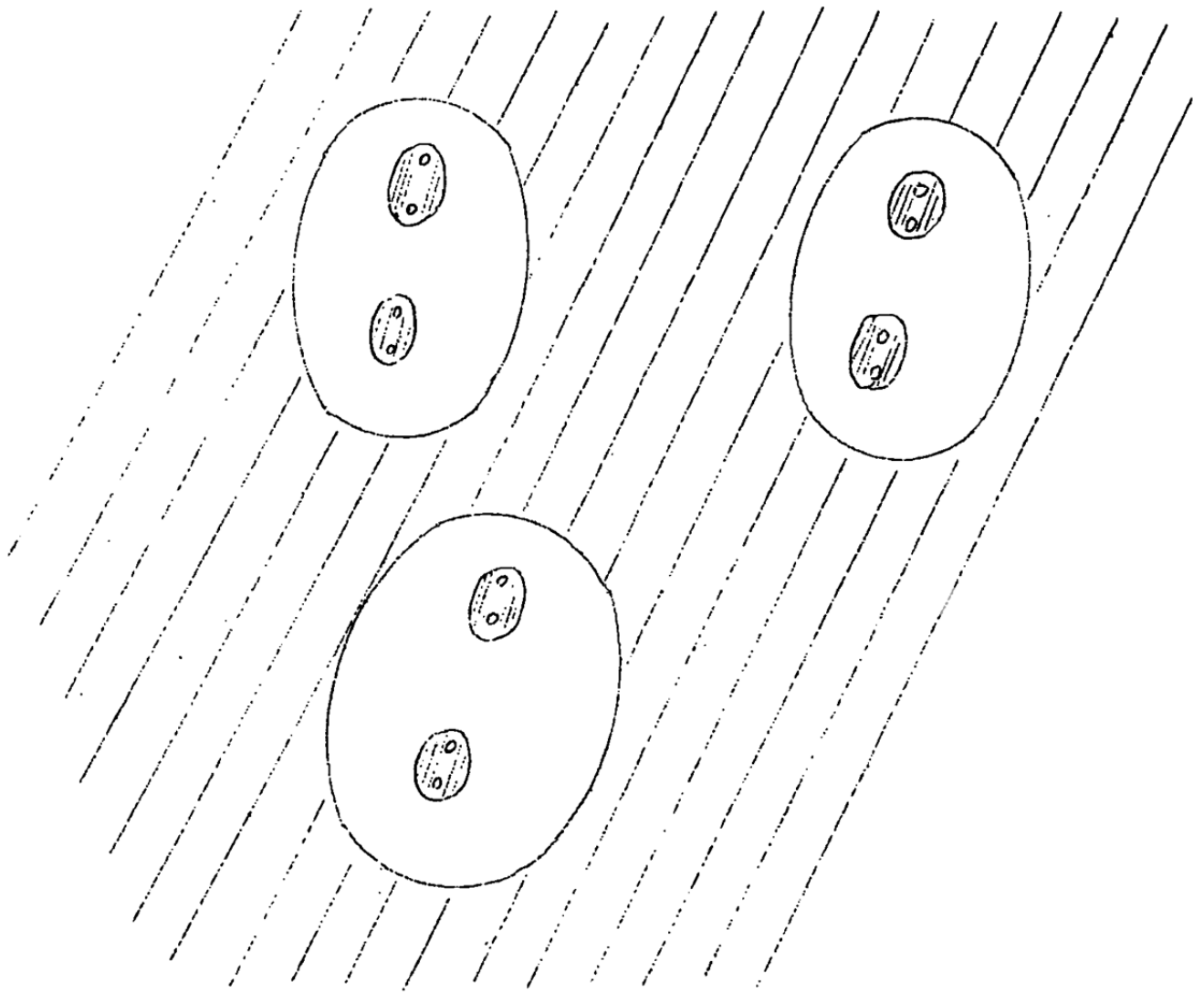
\bar{G} / 内テ角ノ向キヲカへルモノヲ \bar{G} / 角ノ向キヲ変へ
 ナイモノヲ G' トスルベシ

$$\bar{G} = G + \bar{G}$$

然ルトキ G ハソレ自身 = テ群ヲ作ル。

$R_n = m(m-1)^{n-1}$ 個ノ境界ヲ有スル Z 平面ノ領
 域ガ得ラレル。コレヲ σ_n トス。参考ノタメ = Z 平面ノ圖
 形ヲ示ス。

下圖 = 於テハ $m = 3, n = 2$ マデノ Z 平面ノ領域ヲ
 示ス。



外側、陰影ノ部分ハ $R_1 =$ 對應スル σ_1

コノ陰影ノ部分ト次ノ無地ノ部分ヲ併セテ σ_2

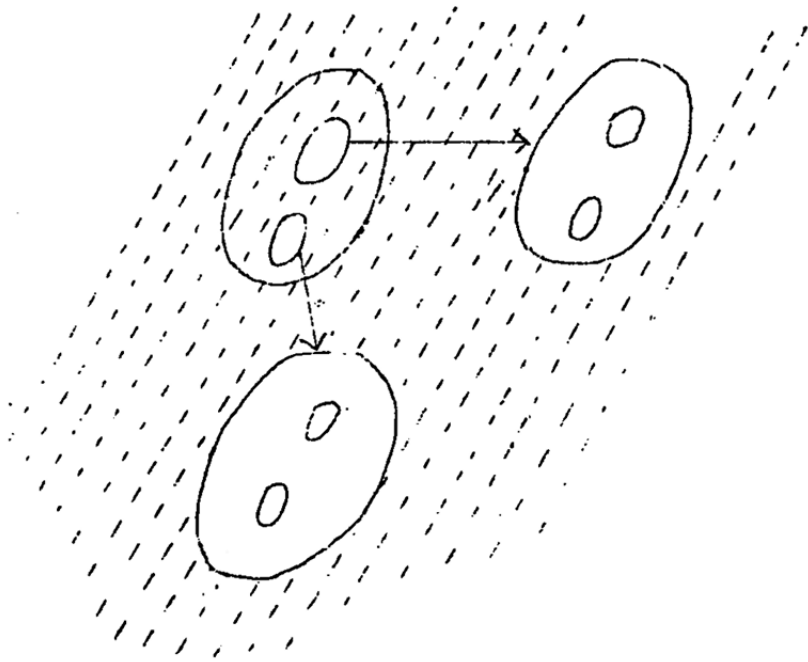
コレニ更ニ次ノ陰影ノ部分ヲ併合シテ σ_3 トナル。

次ニ R_1 ト $R_2 =$ 附着スル一ツノ R トヨリナレ一ツノ
面ニ對應スルニ平面ノ領域ヲ考ヘル。コレヲ σ トス。

次ノ圖ニ於テ上ノ場合ヲ示スト外側ノ陰影ノ部分ガ
ヲ示ス。

σ ハ $2(m-1)$ 個ノ境界ヲ有ス。

コノ境界、 $2(m-1)$ 個ハニツヅツツイヲナシ G ノ適當



+ 変換 $z' = S(z)$
 = ヨリ 互 = 変換サ
 レル。

コノ σ 前ノ σ ト
 考ヘテ 同様ノ 議論
 フ 群 $G = \sigma_i$ フ 行
 フ。

コノ トキ σ_i $2(m-1)$

ノ 境界 = テ 互 = 変換サレル 境界ヲ 附着シテ Ideale Rie-
 mann Fläche フ 作ルト 閉合タ geschlecht $(m-1)$
 ノ 面ガ 出来ル。 従ッテ ソノ ママ 前ノ 理論 = ヨリ

$$C(E) = 0$$

ナルコトヲ 知ル。

コレヨリ $\bar{z}' = S(z)$ ノ 前ト 同シ 理由 = ヨリ

$$\bar{z}' = \frac{cz + d}{az + b}$$

ナル 変換ト ナル。

R_i , S_i = 對應スル σ_i ノ 境界ヲ S'_i ト スレバ

$$\bar{z}' = \frac{c_1 z + d_1}{a_1 z + b_1}$$

ナル 変換 = ヨリ S'_i 上ノ 各点ハ 不変ト ナル。

S'_i 上ノ 任意ノ 三點 z_1, z_2, z_3 フ トリ コノ 三點ヲ 通
 ル 円ヲ 作り, コノ 円 = 關スル inversion $\bar{z}' = T(z)$ フ

作ル。 $T(z)$ は $Z = \infty$ 關スル 或ル 一次分數式ヲ表ハスモノトス。

コレト前ノ 変換トヲ結合スルト Z_1, Z_2, Z_3 ヲ不変点トスル 一次変換トナル故ニ コノ 変換ハ恒等変換トナル。

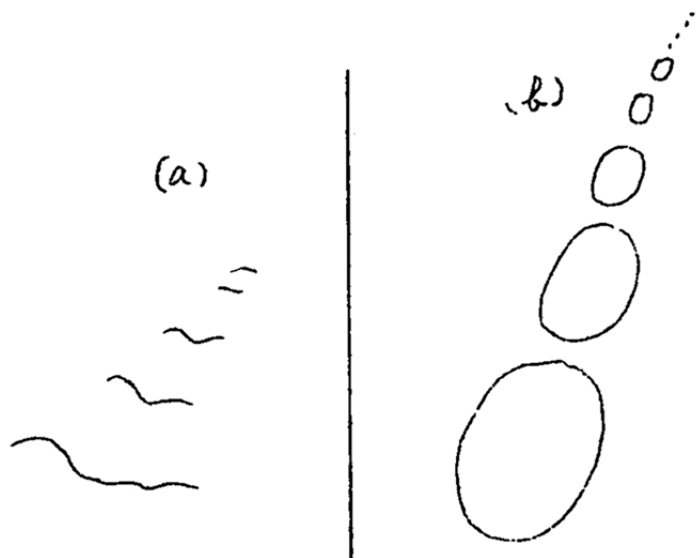
故ニ $Z' = \frac{c_1 Z + d_1}{a_1 Z + b_1}$ ハ Z_1, Z_2, Z_3 ヲ通ル 円ノ inversion トナル。

従ツテ S'_1 ハ コノ inversion = ヨリ 不変ナル故ニ S'_1 ハ 円トナル。 他ノ $S'_i = \dots$ ツイテモ同様デアアル。

故ニ R_1 ハ m 個ノ 円ニテ境界サレタ 領域 $\sigma_1 = \dots$ 寫像サレタ譯デアアル。

注意 I. カコル 変換ガ 二通リアルトスレバ, コレハ 一次 変換ヲ 除イテ 一致スルコトヲ 証明出来マス。コレニハ ツノ 對應スル E_j ($j = 1, 2$) ヲ 考ヘ ルトキ $C(E_j) = 0$ ナルコトヨリ 結論サレマス。コレニ ツイテハ 辻先生ノ 論文ヲ 参照シテ 下サイ。

注意 II. 辻先生ヨリ Koebe ノ 未解決ノ 問題ニ ツイテ



話ガアリマシタ。

ソレハ (a) 圖ノ 如ク (Z) 平面上ニ Continuum ノ 集合ガアリ, ソノ 集積点ガ 可附番個トス。

然ルトキ (a) ハ (b) ノ 如ク 円ノ ミニテ 境界サレ

タ領域 = 寫像サレルカ。ト云フ問題デス。

辻先生ハ可附番個ヲ $Capacity\ 0 =$ オキカヘテ可能
カト云フ問題ヲ出サレマシタ。コレ = ツイテ出来たら後報
= ノセタイト思ヒマス。

次報 = テハ Schottky Type ノ問題ヲ開イタ Rie-
mann 面ノ場合ヘ、擴張トフックソイド群 (第三種)、
limit Point ノ集合 = ツイテ報告シタイト思ヒマス。

— (續ク) —